



過去には多くの人命が奪われました 土砂災害への備え

過去の主な被害

1975年8月6日 岩木山百沢土石流災害

岩木川の源流で岩木山の南斜面を流れる蔵助沢で、豪雨による土石流が発生。土砂や巨岩が百沢地区を直撃し、家屋を約500m押し流した。死者22名、重軽傷者45名、住家被害多数。青森県水害史上最大の土砂災害といわれている。



土石流が民家を巻き込みながら流れた後の百沢地区 写真提供:弘前市

発生前の備え

土砂災害は、発生してから逃げるのが困難です。事前の備えはしっかりと！

気象情報の入手

注意報、警報で想定される被害の規模を知りましょう。

大雨注意報 1時間25mm以上の雨
小規模のがけ崩れが始まる

大雨警報 1時間40mm(山沿い45mm)以上の雨
山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、避難の準備が必要

土砂災害警戒情報
土砂災害の危険度が高まったときに、住民の自主避難の参考になるよう発表されます。斜面の近くにいる人は、発表されたら避難の準備をしましょう。

Check こんな前兆現象に注意！

前兆現象を見たら弘前市からの避難指示の発表を待たずに避難しましょう。

土石流	地すべり	がけ崩れ
<ul style="list-style-type: none"> 山鳴りがする 川の水が濁り流木が混じる 雨が降っているのに川の水位が下がる 山全体がうなっているような音がする 異常なおいがする 	<ul style="list-style-type: none"> 地面にひび割れや段差ができる 井戸水が濁る 湧き水が増える 風もないのに木がザワザワする 	<ul style="list-style-type: none"> がけから水が湧き出す がけが膨らむ 小石が転がってくる

避難が遅れて自宅に留まった場合は、建物の2階以上や、斜面から離れた部屋などに移動しましょう。

〈資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター〉

土砂災害警戒区域とは

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。この区域のうち、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域を「土砂災害特別警戒区域」といいます。

警戒区域内の建物戸数 戸数 748棟 避難者数 1,724人

危険箇所は、岩木山南側の県道3号弘前岳鯉ヶ沢線に沿って多く分布しています。また上岩木橋より上流の岩木川流域、相馬川流域に点在しています。

Check 土砂災害警戒区域はハザードマップでチェック！



弘前市防災マップ

ハザードマップポータルサイト

土砂災害の種類

土石流

山や谷底の石や土砂が、大雨や雪どけ水などと一緒になって、ものすごい勢いで一気に流れ出る現象。大きな岩を先頭に、自動車と同じくらいの時速40～50kmで、谷をけずりながら流れ下りる。



発生しやすいのは？

山から流れてくる、かたむきの急な谷で、川岸や川の上流に崩れやすい土砂がたくさんあるところ。谷の出口に大きな石がごろごろしているところは、前にも土石流が起こっていることが考えられる。

土石流から逃げるには

スピードが速いため、流れる方向に逃げても追いつかれてしまう。土砂の流れる方向に対して直角に逃げ、高いところに避難しよう！

地すべり

ゆるい斜面の地盤に雨がしみこみ、浮いたような状態でゆっくりと斜面を下る現象。家や生えている木なども一緒に、地面が大きなかたまりのまま動く。動く速さは、1日に数ミリ程度と目に見えないほどだが、一気に数メートル動くこともある。また、一つの場所で何十年にもわたって少しずつ続くものや、地震などがきっかけで突然起きるものもある。



発生しやすいのは？

水を通しにくく、すべりやすい、粘土の地層が広がっている場所。ゆるやかな斜面で発生することが多い。

〈資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター〉

がけ崩れ

雨や雪どけ水などがしみ込み、急な斜面が突然崩れ落ちる現象。地震の揺れによって起きることもある。一気に大量の土が崩れ落ちてくるため、がけの下にいた人は、ほとんど逃げることができない。



発生しやすいのは？

5メートル以上で、かたむき30度以上の急ながけは要注意。がけの下よりも上のほうが張り出しているがけは、雨が降らなくても地震や強い風などで崩れるおそれがある。ひびが入っている、表面に大きな石が飛び出している、わき水が多いがけも危険。

ふるさとの豊かな未来を拓く

伸 特定建設業 猪股建設株式会社



本社 〒036-8095 弘前市大字城東2丁目3-1
TEL (0172) 27-8217 FAX (0172) 27-1840

POINT 土砂災害は大雨以外の要因でも発生します！

なだれ

春先、雪どけによって大量の水分が土の中にしみこむと、なだれとともに土砂災害が発生することがあります。山沿いでは、天気予報で「なだれ注意報」が発表されたら注意が必要です。

大きな地震

地震(過去の事例では震度5強以上)が原因で、土砂崩れが発生することがあります。東日本大震災では、仙台市内の住宅地で地すべりが発生しました。強い揺れを感じたら、斜面から離れましょう。

